



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 イヌイ倉庫株式会社

コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小林 雅史

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 03-5548-8613

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,796	△10.3	416	△12.4	289	△28.8	△265	—
24年3月期第2四半期	4,231	△2.1	476	38.5	406	97.6	120	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △320百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 132百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△16.65	—
24年3月期第2四半期	7.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	37,881	15,655	41.3	981.00
24年3月期	36,779	16,118	43.8	1,010.06

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,655百万円 24年3月期 16,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,342	△8.7	640	△20.5	377	△42.1	△258	—	△16.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	18,200,000 株	24年3月期	18,200,000 株
25年3月期2Q	2,241,580 株	24年3月期	2,241,580 株
25年3月期2Q	15,958,420 株	24年3月期2Q	15,958,488 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想(平成25年3月期の連結業績予想)については、平成24年9月27日公表の数値から修正しております。詳細については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、貨物取扱量および貨物保管残高は前年同期を下回る低い水準で推移しましたが、賃貸物流施設の空室率は、堅調な需要と逼迫した需給バランスが続き、更に改善して推移いたしました。また、不動産業界においては、都心部における賃貸オフィスビルの空室率は需給バランスの改善傾向により若干低下しつつあるものの賃料水準は低下傾向が続いていることや、賃貸マンション市況も軟化傾向が続くなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益につきましては、前年度に連結子会社の全株式を譲渡し連結対象外となったこと等により、前年同期比434百万円減収(△ 10.3%)の3,796百万円となりました。また、営業利益は前年同期比59百万円減益(△ 12.4%)の416百万円、経常利益は前年同期比117百万円減益(△ 28.8%)の289百万円となり、四半期純損益は投資有価証券評価損を計上したこと等により、前年同期比386百万円減益の265百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①物流事業

物流事業におきましては、貨物取扱量の減少や物流合理化による影響があったものの、神戸みなと倉庫（賃貸物流施設）の満室稼働に伴う収益寄与および業務効率化による費用削減効果もあり、営業収益は前年同期比120百万円増収(+7.5%)の1,718百万円、セグメント利益は前年同期比159百万円増益の109百万円となりました。

②不動産事業

不動産事業におきましては、アパートメンツタワー勝どきによる収益貢献があったものの、賃貸オフィスビルの減収影響や賃貸マンション市況の軟化等の影響により、営業収益は前年同期比219百万円減収(△ 10.1%)の1,960百万円、セグメント利益は前年同期比223百万円減益(△ 23.8%)の715百万円となりました。

③その他

前年度、平成23年7月1日付にて連結子会社の全株式を譲渡し連結対象外となったこと等により、営業収益は前年同期比336百万円減収(△ 74.1%)の117百万円、セグメント損益は前年同期比30百万円減益の5百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、所有地再開発（「(仮称) Co-12計画」(東京都中央区)／平成25年7月竣工予定)による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比1,101百万円増の37,881百万円となりました。負債は、上記の所有地再開発にかかる借入金の増加等により、前連結会計年度末比1,565百万円増の22,225百万円となりました。純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末比463百万円減の15,655百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.8%から41.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して232百万円増加し、1,893百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、1,155百万円となりました。これは主として、非資金損益項目である減価償却費597百万円、投資有価証券評価損319百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、2,067百万円となりました。これは主として、所有地再開発への投資（「(仮称) Co-12計画」(東京都中央区)／平成25年7月竣工予定）および既存施設への修繕投資による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果として得られた資金は、1,144百万円となりました。これは主として、借入金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年9月27日に公表した平成25年3月期の業績予想を変更しております。詳細は、本日付開示「第2四半期連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661	1,893
営業未収金	536	514
その他	498	300
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,694	2,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,373	11,905
土地	1,080	1,270
信託建物及び信託構築物（純額）	5,587	5,445
信託土地	3,935	3,935
建設仮勘定	64	1,931
その他（純額）	384	341
有形固定資産合計	23,425	24,829
無形固定資産	157	129
投資その他の資産		
投資有価証券	9,669	9,261
その他	832	953
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,501	10,214
固定資産合計	34,084	35,173
資産合計	36,779	37,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	324	388
短期借入金	3,680	3,480
1年内返済予定の長期借入金	4,081	4,004
未払法人税等	11	22
賞与引当金	91	90
固定資産撤去費用引当金	—	34
その他	439	631
流動負債合計	8,627	8,651
固定負債		
長期借入金	8,722	10,379
退職給付引当金	103	111
受入保証金	1,949	1,895
長期前受収益	699	699
その他	557	488
固定負債合計	12,033	13,574
負債合計	20,660	22,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	2,699	2,699
利益剰余金	11,233	10,823
自己株式	△1,218	△1,218
株主資本合計	15,481	15,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	637	582
その他の包括利益累計額合計	637	582
純資産合計	16,118	15,655
負債純資産合計	36,779	37,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益	4,231	3,796
営業原価	3,350	3,035
営業総利益	881	761
販売費及び一般管理費	405	344
営業利益	476	416
営業外収益		
受取配当金	51	43
その他	28	41
営業外収益合計	79	85
営業外費用		
支払利息	120	103
シンジケートローン手数料	—	90
その他	27	19
営業外費用合計	148	213
経常利益	406	289
特別利益		
保険解約返戻金	14	20
その他	0	0
特別利益合計	14	20
特別損失		
投資有価証券評価損	51	319
割増退職金	—	134
減損損失	40	172
固定資産撤去費用引当金繰入額	67	34
その他	22	67
特別損失合計	181	728
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	239	△418
法人税、住民税及び事業税	148	13
法人税等調整額	△29	△165
法人税等合計	118	△152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120	△265

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	120	△265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	8	0
その他の包括利益合計	11	△54
四半期包括利益	132	△320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	△320
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	239	△418
減価償却費	635	597
減損損失	40	172
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	67	34
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△52	△47
支払利息	120	103
シンジケートローン手数料	—	90
持分法による投資損益 (△は益)	58	18
投資有価証券評価損益 (△は益)	51	319
関係会社株式売却損益 (△は益)	15	—
固定資産除却損	1	33
固定資産撤去費用	—	33
割増退職金	—	134
保険解約損益 (△は益)	△14	△20
売上債権の増減額 (△は増加)	△16	21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29	59
前払費用の増減額 (△は増加)	16	28
未払費用の増減額 (△は減少)	△5	8
前受収益の増減額 (△は減少)	25	△8
未払又は未収消費税等の増減額	55	1
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	33	△53
その他	△44	△25
小計	1,185	1,090
利息及び配当金の受取額	52	47
利息の支払額	△119	△101
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△196	118
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△838	△2,140
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△39	—
保険積立金の解約による収入	14	73
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863	△2,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100	△200
長期借入れによる収入	—	2,510
長期借入金の返済による支出	△988	△1,019
配当金の支払額	△143	△143
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,233	1,144
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,175	232
現金及び現金同等物の期首残高	2,782	1,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,607	1,893

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	1,598	2,179	3,777	453	4,231	—	4,231
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	57	57	4	62	△62	—
計	1,598	2,236	3,835	458	4,293	△62	4,231
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△50	938	888	24	913	△437	476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業及びシステム開発関連事業であります。

2. セグメント利益の調整額△437百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

システム開発関連事業を営む(株)イヌイシステムズの全株式を平成23年7月1日付で譲渡したことにより、同社は当第2四半期連結会計期間より連結対象外になります。このためその重要性を鑑みて、第1四半期連結累計期間よりシステム開発関連事業セグメントは報告セグメント外とし、「その他」に含めて表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

物流事業において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間での物流事業の資産の減少は40百万円となっております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	1,718	1,960	3,679	117	3,796	—	3,796
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	51	51	—	51	△51	—
計	1,719	2,011	3,730	117	3,848	△51	3,796
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	109	715	824	△5	818	△402	416

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業であります。

2. セグメント利益の調整額△402百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△402百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

物流事業において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間での物流事業の資産の減少は6百万円となっております。

不動産事業において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間での不動産事業の資産の減少は166百万円となっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。